

(別添資料1)

事業所名

サルビアの家ひかり

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

6年

12月

1日

法人（事業所）理念		当法人は、障害があっても介護が必要となっても、その人らしく人生を過ごしていけるよう、寄り添うことを念頭に置いて活動しています。地域には、さまざまな支援を必要とされる方がたくさんいらっしゃいます。今後も既成概念にとらわれることなく、自由な発想を持って地域社会に貢献できるよう新たな取り組みにチャレンジし続けていきたいと考えております。			
支援方針		障害のあるお子さんが日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、障害のあるお子さんの身体および精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導および訓練を行います。			
営業時間		9時00分から	17時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうすべきか分かっていても、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せないとき、「気持ちに名前を付ける」「強さに段階を付ける」「絵にして描いてみる」など、感情を客観視してコントロールする練習をします。			
	運動・感覚	「緊張」「弛緩」など身体のコントロールをする練習をします。また、体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールできると、気持ちや、テンションのコントロールへも役立ちます。ミュージックケアや音楽療法にも取り組みます。			
	認知・行動	「着席する」「大人をよく見る」「話を聞く」「苦手な事にも頑張ってみる」等、課題に向き合う学習の姿勢を支援します。「頑張ってたよ」と感じるような関わり方や内容を工夫します。また、情報を適切に処理するといったコミュニケーションの難しさから生じる行動の予防方法を考えます。また、待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考えます。			
	言語コミュニケーション	「お願いをする」「話をする」「耳を傾ける」「まねをしてみる」「観察する」など、自分も周りも大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカード等、子どもに合った方法を一緒に考えます。暴力や、暴言など、社会的には不適切とされる行動も、子どもたちにとっては何らかの問題に対処している行動と捉えることが出来ます。どんな問題に対処しようとしているのか、丁寧に観察しつつ、社会的にも適切な行動を考え工夫し、支援します。			
	人間関係社会性	ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルを身に付け、「やって良かった」「楽しい」と感じるなど、良い体験となるように支援方法を考えていきます。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など社会生活で必要となるスキルを身に付けます。「友人」「上下」「利害」「同盟」「協力」「対立」など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動を選択できるように、一緒に考えます。			
家族支援		ご家族に寄り添い安心して生活を送ることができるよう、必要に応じて情報共有や相談援助等を実施します。	移行支援		地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関との連携を行います。
地域支援・地域連携		支援体制の構築を図るため、必要に応じて学校や支援機関等との連携を実施します。支援方針を検討するため、関係機関との連携・会議を行います。	職員の質の向上		各種研修等に取り組み、職員の質の向上に努めます。虐待防止及び身体拘束の適正化研修、感染症対策・感染症BCP・自然災害BCPに関する研修・訓練、個人情報保護に関する研修、事故発生時・緊急事対応、苦情・相談対応、防災・防犯研修・訓練、ハラスメントに関する研修など
主な行事等		【通年】お誕生日会 【春】お花見 【夏】海水浴 【秋】釣り体験 【冬】クリスマス会、お正月			